

静岡市脱炭素先行地域の進捗状況について



環境局GX推進課
グリーン政策係

◆清水駅東口エリアについて

＜整備対象エリア＞



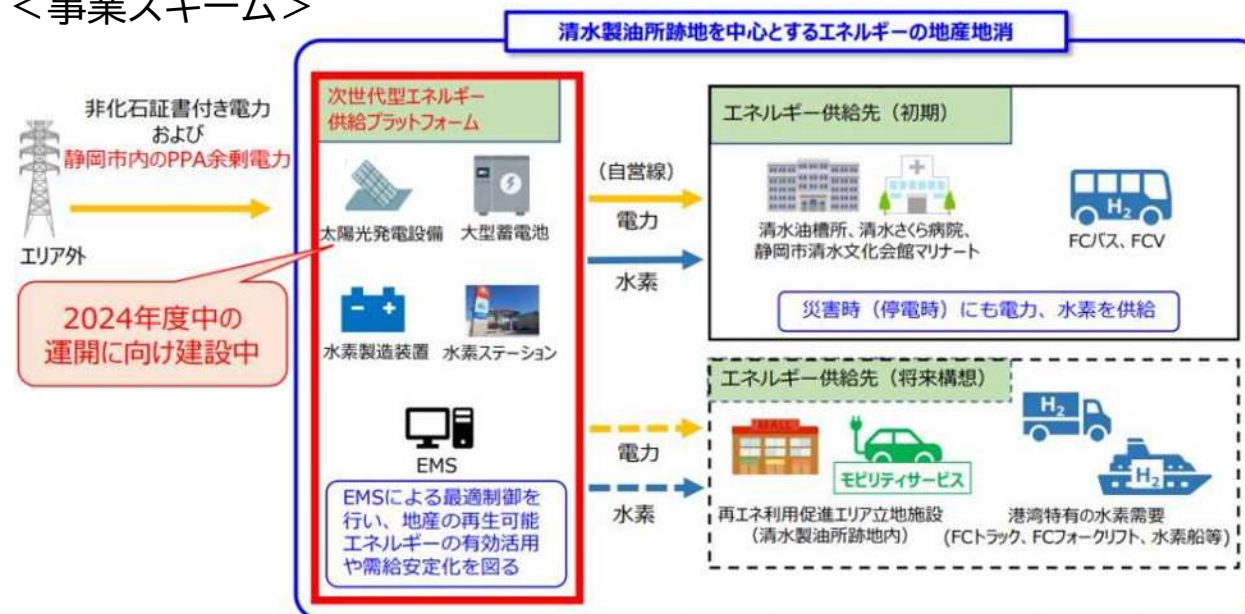
太陽光発電設備



大型蓄電池



＜事業スキーム＞



- 令和6年度中の
自営線電力供給開始、
水素ステーション開所に向け
太陽光発電設備(3,000kW)
大型蓄電池(7.7MWh)
自営線の整備完了
- 今後、再エネ利活用促進エリアの
設備増強を検討していく

◆日の出エリアについて

<整備対象エリア>

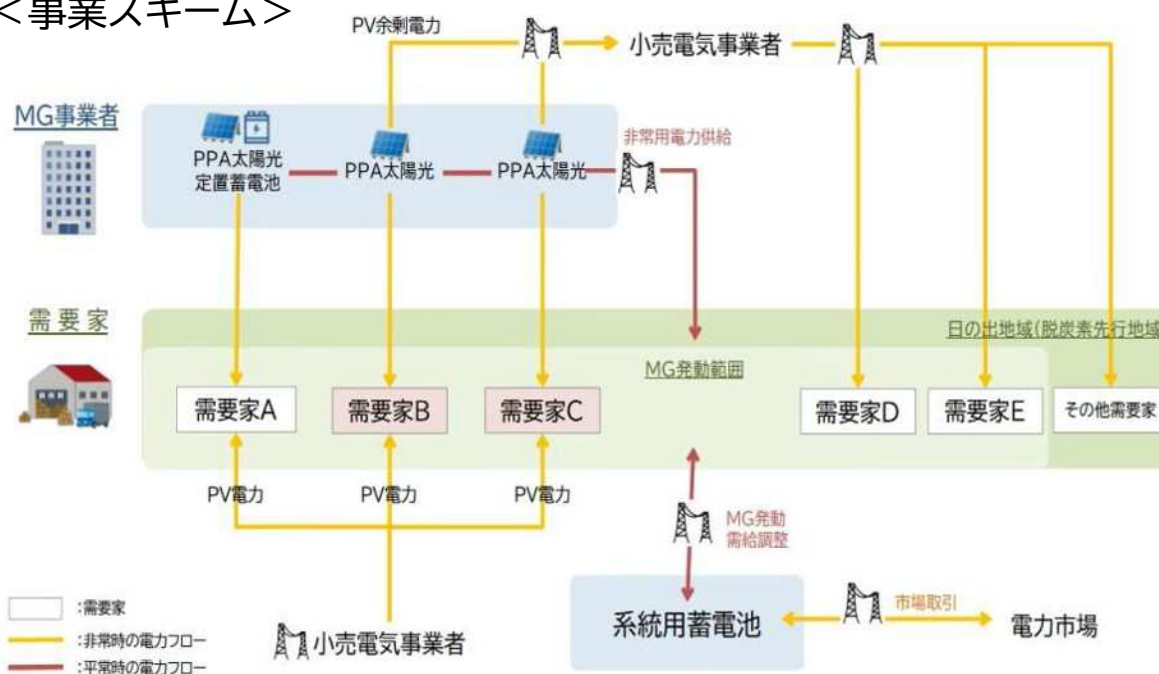


<将来構想>



※上記内容は令和4年度FS調査時点の情報

<事業スキーム>



- ・令和6年度中に
太陽光発電設備(約1,000kW)、
蓄電池(約350kWh)、EMS等を
整備する
- ・令和6~7年度に
系統用蓄電池(5MWh)を整備予定
- ・令和8年度にかけて、系統線を活用した
地域マイクログリッドを構築予定
- ・水素インフラやEVカーシェアリング、
次世代太陽光パネルの導入可能性等
について検討していく

◆恩田原・片山エリアについて

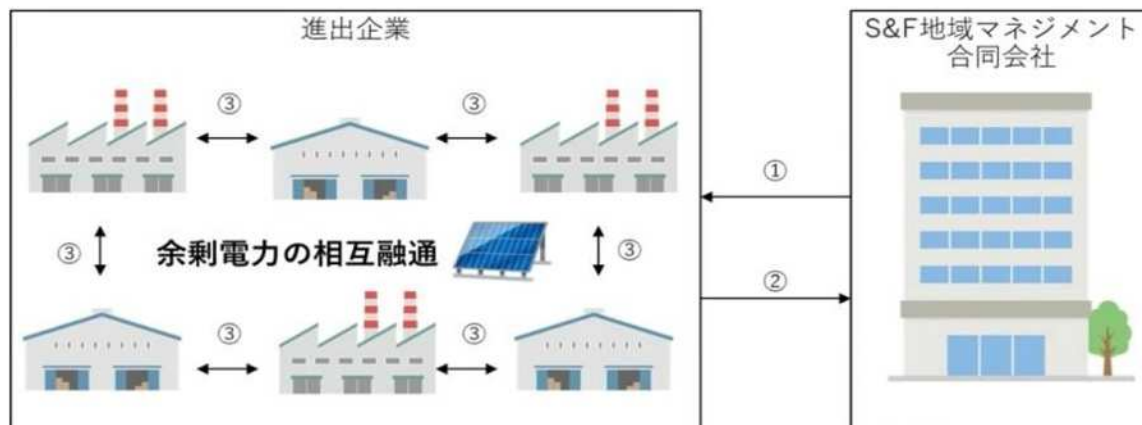
<整備対象エリア>



<現在の恩田原・片山エリア>



<余剰電力相互融通のイメージ>



- ①…太陽光発電設備の設置および発電した電力の供給、太陽光発電でまかない切れない分の電力の供給（系統電力）
- ②…電気料金の支払い
- ③…余剰電力をエリア内の進出企業間で相互融通

- ・令和4年度から進出企業の屋根に太陽光発電設備を設置している
- ・コロナ禍の影響により、建築スケジュールに遅延が生じているが、令和8年度までに整備完了見込み
- ・引き続き、太陽光発電設備（PPAモデル）の面的整備を推進する
- ・将来的には、隣接する将来開発エリア（宮川・水上地区）へ水平展開していく

◆スケジュールについて

- ◆脱炭素先行地域に関するスケジュールは以下のとおり
- ◆各エリアで進捗は異なるため、コンソーシアムで情報共有を図る
- ◆各エリアの賑わいづくりの整備状況に応じ、随時設備増強を検討

<具体的なスケジュール>

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
清水 駅東口	・太陽光、蓄電池、EMSの導入 ・自営線を敷設し地域MG構築			・再エネ利活用促進エリアの施設整備検討状況に応じ 設備増強の検討、整備		
		・グリーン水素供給設備整備				
日の出	・FS調査・詳細設計		・太陽光、蓄電池等を導入し、系統線を活用した地域MG構築			・水素インフラ検討 ・陸上電力供給検討
	・海洋文化施設事業者選定、設計、建設、開園準備（施設の設計に併せ太陽光等の導入を検討）					
恩田原・片山	・太陽光発電設備導入					
	・系統線を活用した地域MG構築に向け、蓄電池、EMS導入検討、整備					
市域 全域	・コンソーシアム設立 ・市内PPAの余剰電力供給 ・先行地域の情報発信、事業評価等 ・先行地域間での電力融通検討					
	・公共施設再エネ電力供給検討			・公共施設への再エネ電力供給		